

香川大学 工学部

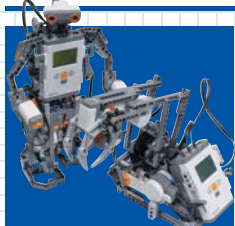
Lab. Express

安全システム建設工学科

信頼性情報システム工学科

知能機械システム工学科

材料創造工学科



これからの世界を大きく変える、次世代の新技术や研究が日夜生まれている香川大学工学部。柔軟な発想で、世界初の研究も、地域に役立つプロジェクトも、両方経験できるのが強みです。この「LAB EXPRESS」では、学部案内ではご紹介しきれなかった研究室や学生たちの最新情報をお伝えします！

工学部の手作りEV自動車、 カーレース 初出場で準優勝!

ブログ <http://ameblo.jp/ev-project-kagawa/>
ツイッター @ev_project

自分たちの手で電動化したレーシングカートで、昨年11月に「日本EVフェスティバル2010」に初挑戦した「香川大学EV(Electric Vehicle)プロジェクト」の学生たち。プロジェクト結成からわずか4か月で、みごとクラス準優勝に輝きました!

もともと人に安全なクルマについて研究をしていた鈴木准教授。高齢化社会でクルマはどうあるべきかを研究する中で、ひとつの解として電気自動車に注目しました。「コンセントにプラグを差し込むだけの電気自動車なら高齢者でも燃料補給がカンタンです。過疎化が進む瀬戸内海の島などは、スタンドにガソリンを輸送するのにもと苦勞。電



手作りのスタッフジャンパーの背中の色が擦り切れて薄くなるほど、何度も何度もクルマに乗って実験を繰り返しました。



気自動車のほうがはるかに扱いやすいはず。そんな電気自動車を自分たちで作ろうというプロジェクトに、クルマ好き、ものづくりが好きな工学部生たちが反応しないはずはありません!

メンバーが目指しているのは、走りの楽しさも追求した電気自動車。いま学内ではガソリン車が、学生たちの手で電気自動車に生まれ変わろうとしています。「前回レーシングカートだったので、実際に公道を走るクルマを作ってみよう。車検をひとつひとつクリアするのは大変ですが、完成したら四国88箇所をお遍路してまわろうと思っています。いろんな大学生と交流したり、お祭りみたいにEVを盛り上げていきたい」と学生たち。

EVには電気系、機械系、素材系、さまざまな専門知識が必要なので、プロジェクトに関わる学生も学科はさまざま。中には他学部の学生の姿もあります。クルマを通してさまざまな発見と出会いがあるEVプロジェクト。結成2年目の今年はさらに面白くなりそうです!

Go!香川大学 工学部

日本でいちばん小さな県、香川県にある香川大学工学部。創立13年目の、日本で最も新しい国立大学の工学部です。香川県のさまざまな研究機関や企業のシンクタンクが集まる「香川インテリジェントパーク」内に位置し、企業や行政との研究開発も頻繁に行われています。2011年には新しい研究棟がオープン。さらにプロジェクトスペースも建設されるなど、最新の研究施設が整っているのは国立大学だからこそ。工学部はクリエイティブな研究が日々行われている場所。あなたと一緒に研究できる日を楽しみにしています!



おかえりなさい! 国際インターンシップ 体験レポート

災害時の安全で迅速な避難方法についての研究を主に、インターンシップを経験してきました。たったの5か月の海外生活なので、何かが劇的に変わったというわけではありません。でも、ほんの1年前の自分と比べると、今は当たり前のように知っていたりする。これはよく考えればすごいことかなと思います。このフィンランド滞在中に何かが変わったというより、この経験をもとに、きっとこれからの人生が多かれ少なかれ、変わってくるのだと思っています。

フィンランド・ロバニエミにあるロバニエミ応用科学大学で約5ヶ月間のインターンシップに行ってきました! 安全システム建設工学専攻 1年 秋友 未聖



就職に強いのが工学部! 学校推薦で 一流企業 への道も。

クルマの開発や設計をしたい! 念願の自動車メーカーに就職します。 信頼性情報システム工学科 4年 荻田 淳史

工学部は香川大学の中でも、比較的就職率が高いのが特長です。「国立大学」ならではの求人数の多さに加えて、各企業が香川大学推薦枠を持っているため、安定した就職が見込めます。工学部は企業出身の先生も多く、ナマの就職状況が聞けるメリットもあります。

2人に1人が 関東・関西で就職。

香川に来たら、香川だけで就職できなさそう、なんて思っていますか? 工学部はそんなことはありません。工学部の学生の4人に1人が東京の企業に、5人に1人が近畿圏の企業に就職しています。もちろん地元香川での就職にも強い!

